

庁舎整備特別
委員会審査報告

まず、庁舎整備にかかわる事務の調査のため、議会閉会中の4月20日と5月21日に委員会を開催し、当局から、庁舎整備基本計画（素案）の取りまとめ状況等について報告があり、議場は新庁舎に整備するが、委員会室を庁舎の中会議室と兼用するなどの手法により、庁舎面積の削減を図ること、などについて説明がありました。

次に、今議会では、補正予算（案）に計上されている同基本計画策定業務委託費及び市民説明会のための文化会館使用料について審査したほか、当局から、今後の事業スケジュールの説明などがありました。主な質疑に対する答弁の概要は、次のとおりです。

○補正予算

- 【同計画の印刷部数】経費節減のため印刷部数は5部とし、あとは電子データから必要に応じてプリントする。
- 【用地測量及び地質調査の予算措置の時期】用地測量は同計画策定後、地質調査は平成25年度当初予算を予定している。
- 【同計画に係るパブリックコメントに向けた情報提供の手法】広報等により、随時、進捗状況等の情報を提供し、案ができた段階では、市役所や地域センターで閲覧することができる体制を整えながら、概要版のようなものを示すことを考えたい。
- 【市民説明会の開催方法】今のところ、文化会館で昼と夜の2回開催し、二ツ井町庁舎でも同様に開催することを考えている。

○庁舎整備にかかわる事務の調査

【議事堂の保存活用に関する市民の声を聴取する姿勢】広報に関係記事を掲載する際に、意見提出を促す表記を行う。

【議事堂を音楽ホール等文化施設として活用してほしいという市民要望】できるだけ経費をかけないよう配慮しながら、市民サービスの向上につながる整備手法を検討し、議場は新庁舎に整備するという方向づけをした。本市民要望は、文化財登録や建物の位置にはこだわらないとの意向もあることから、庁舎とは別に検討することも考えたい。

【議事堂の解体または保存活用に関する最終判断の時期】基本設計のプロポーザル競技において庁舎敷地の条件を明確に示す必要があるため、基本計画の段階ではつきり明示したい。

【二ツ井町庁舎に教育部を残すことに関する将来的な考え方】後年度の経費負担を心配する市民が非常に多いことから、当面、活用可能な二ツ井町庁舎に教育部を引き続き配置することにしたものであるが、将来的には、職員数の減少による庁舎の空きスペースの状況などを踏まえ、本庁舎に本庁機能を集約していく方針である。

【十分な庁舎面積が確保されているか】事業費削減のため、総務省の従前の起債基準などを一つの目安に面積を積算しているが、例えば、共用関係諸室については平均的な数値を使用して面積を積算するなど、場合によっては十分でない可能性もある。この後、設計段階で、しっかり検証しなければならぬ。

【おおむね110台としている駐車場の規模は十分か】現在の想定規模は、日常業務において必要な最低規模の目安であり、この後、敷地全体の利用計画や事業費を勘案し、さらに検討したい。

【設計に対する市民意見の反映方法】平成22年度に設置した庁舎整備市民懇話会は、基本設計までを所掌事務としており、これらの中で意見を出してもらうことができる。

議員の議案に対する賛否の態度

議案番号	議案名	審査を付託した委員会	採決結果	平政会 (議長を除く)					よねしろ会				市民連合			市民の声		日共産党	公明党	創新会						
				松谷福三	針金勝彦	藤原良範	武田正廣	高橋孝夫	竹内宏	菅原隆文	伊藤洋文	穴山和雄	庄司紘八	田中翼郎	薩摩博	信太和子	畠貞一郎	中田満	畠山一男	柳谷渉	安岡明雄	藤田克美	渡辺芳勝	菊地時子	小林秀彦	渡辺優子
55	能代市公民館条例等の一部改正について	文民	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○
58	平成24年度能代市一般会計補正予算	全	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
66	監査委員の選任について	-	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※全：全委員会（総務企画・文教民生・環境産業・建設・庁舎整備特別） 文民：文教民生委員会 -：本会議で採決 ○：賛成 ●：反対 除：除斥
 ※除斥・・・審議を公正に行うため、審議事件と一定の利害関係を有する議員が、当該議事に参加できなくなること。
 ※全会一致で可決した議案、請願陳情の採決については除いております。